

千葉市地域福祉計画 事業別取組状況について（平成23年度）

《基本テーマ2：居場所の確保・社会参加》 ③居場所・交流の場づくり

No.	主な取り組み		所管課	事業概要	平成23年度実績見込み（取組状況）	平成24年度の予定・目標
20	ア) 高齢者（介護予防も含む）	いきいきセンターの利用促進	高齢施設課	高齢者の健康と生きがいを高め、余暇活動や自主的な活動の活性化を図るとともに、介護予防と交流を促進する拠点として運営します。	利用者数延べ119,500人	利用者数延べ119,500人
21		老人クラブ活動の充実強化	高齢福祉課	老人クラブの生きがいづくりや健康づくりに係る各種活動、社会奉仕活動を促進するとともに、老人クラブ活動のリーダーを育成するための指導者研修等を充実します。	1 老人クラブの生きがいづくりや健康づくりに係る各種活動、社会奉仕活動を促進した。 2 老人クラブ活動のリーダーを育成するための指導者研修会を平成24年3月に実施する。[参加人数 約300名]	1 老人クラブの生きがいづくりや健康づくりに係る各種活動、社会奉仕活動を促進する。 2 老人クラブ活動のリーダーを育成するための指導者研修会を平成25年2月に実施する。[参加人数 約300名]
22	イ) 障害者・児	ワークホームの運営支援	障害企画課	障害者やその家族などが運営主体となり、家族的な雰囲気の中で軽作業などの活動を行い、企業で働くことが困難な障害者の働く場としての機能のほか、日常的な相談支援や仲間づくりの支援などの機能を果たしているワークホームの運営を支援します。	ワークホーム19カ所に対して、運営上に必要な補助金を交付した。	引き続き、運営上に必要な補助金を予算の範囲内で、ワークホーム19カ所に交付して運営を支援していく。
23		精神障害者共同作業所の運営支援	障害企画課	在宅の精神障害者が軽作業などの活動を行い、働く意欲の増進を図る機能を果たしている精神障害者共同作業所の運営を支援します。	精神共同作業所5カ所に対して、運営上に必要な補助金を交付した。	引き続き、運営上に必要な補助金を予算の範囲内で、精神共同作業所4カ所に交付して運営を支援していく。
24		地域活動支援センターの運営支援	障害者自立支援課	創作的活動や生産活動、社会との交流促進など多様な活動の場を提供するとともに、地域の障害者等の福祉に関する相談に応じ、必要な情報提供や援助を行う地域活動支援センターの運営を支援します。	精神保健福祉士等の専門職員を配置し、医療・福祉・地域の社会基盤との連携強化のための調整等を行うⅠ型については、市内の社会福祉法人に委託して、4か所で実施するとともに、機能強化として、機能訓練、社会適応訓練等を行うⅡ型・Ⅲ型については、市内13か所の事業者に対して運営補助を行った。	引き続き、Ⅰ型については、市内の社会福祉法人に委託して実施するとともに、Ⅱ型・Ⅲ型については、事業者に対する補助を行う。
25		障害者福祉大会の開催	障害企画課	障害のある方とない方との交流を促進し、相互の理解を広め、人と人とのふれあいの輪を広げるため、障害者福祉大会を開催します。	日時:平成23年12月3日(土)9時40分～12時20分 場所:千葉市ハーモニープラザ多目的ホール 参加者数:396名(介助・付添者含む)	日時:平成24年12月1日(土)9時40分～12時20分 場所:千葉市ハーモニープラザ多目的ホール
26		長柄げんきキャンプ	教育委員会指導課	少年自然の家で市立小・中学校の特別支援学級及び特別支援学校の児童・生徒による宿泊学習を行います。	特別支援学校2校、小学校58校、中学校27校の特別支援学級に通う約830名の児童生徒が参加し、千葉市少年自然の家での宿泊体験活動を実施。	平成24年6月11日から平成24年12月7日までの間に、特別支援学校2校と小学校67校、中学校28校の特別支援学級に通う児童生徒を対象に実施予定。
27		トイライブラリー運営事業	障害者自立支援課	心身障害児がおもちゃを通じて遊ぶことにより、機能回復及び能力発達を促進します。	市内の社会福祉法人に委託して、2か所でトイライブラリー事業を行った。	引き続き、市内の社会福祉法人に委託して、トイライブラリー事業を実施する。

千葉市地域福祉計画 事業別取組状況について（平成23年度）

《基本テーマ2：居場所の確保・社会参加》 ③居場所・交流の場づくり

No.	主な取り組み		所管課	事業概要	平成23年度実績見込み（取組状況）	平成24年度の予定・目標
28	ウ)こども	こどもカフェ（仮称）の整備事業（新規）	こども企画課	学校等の公共施設や空き店舗等を活用し、「子どもに信頼される大人」が見守る中で、親や学校の先生にも言えないことを、気軽に相談したり、一緒に勉強したり、また、仲間と遊んだりすることができるなど、子どもたちにとって居心地の良い居場所となる「こどもカフェ」を設置します。 なお、「こどもカフェ」は、市内の教育・保育大学や地域のボランティアとの協働による運営を予定しています。	美浜区高洲保健センター跡施設を活用し、植草短期大学との協働事業により、10月からモデル事業として1ヶ所開設、20回開催の予定で運営している。	地域ボランティアや学生を募集し、人材を育成するための講座を実施した上で、モデル運営を新規1ヶ所実施する。
29		子ども交流館	こども企画課	「遊び・創造・憩い」を通して、子どもたちに健全な遊びと居場所を提供し、子どもの健全な育成と交流を図るとともに、子どもたちで構成し施設の利用方法などを検討する「子ども運営委員会」の設置など、子どもの自主的活動の支援等を行います。	※H23.12月現在 来館者数 95,976人（開館以来延べ526,638人） 利用者である中高生を中心に「子ども運営委員会」毎月1回開催し、講座・イベントの企画立案や利用のルールづくりなど、子どもの自主的活動の支援を実施した。	引き続き、多くの子どもたちに健全な遊びと居場所の提供を行うとともに、「子ども運営委員会」の活動支援等を行っていく。
30		千葉市科学館の利用促進	教育委員会 生涯学習振興課	子どもたちの探究心向上と創造力育成のための参加体験型「科学館」の利用を促進します。ボランティアの募集及び育成も行います。	学校団体利用状況（H24年1月末現在） 462校 50,034人 科学館ボランティア登録者数（H24年1月末現在） 247人	引き続き、科学館においてボランティアの募集及び育成を行う。
31		放課後子ども教室推進事業	教育委員会 生涯学習振興課	小学校の施設を活用して、放課後の子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設け、地域の多様な人々の参画を得て、さまざまな体験・交流活動を実施します。	市内全117小学校区で実施	市内全小学校区で実施する。
32	エ)子育て家庭	子育てリラックス館の充実	保育支援課	子育てへの不安感や精神的負担感等の解消を図ります。	市内10箇所の子育てリラックス館において、子育て親子のふれあいの場の提供・交流の促進、子育てに関する相談援助、地域の子育て関連情報の提供及び子育て及び子育て支援に関する講習等を行った。	市内10箇所の子育てリラックス館において、子育て親子のふれあいの場の提供・交流の促進、子育てに関する相談援助、地域の子育て関連情報の提供及び子育て及び子育て支援に関する講習等を行う。
33		育児サークルの支援	各区保健福祉センター健康課 健康支援課	育児のための情報交換や子育て親子の友達づくりと知識の普及を図り、育児を支援します。	ホームページの育児サークル情報をリニューアルし、子育て中の親子への情報提供の充実に取り組んだ。	育児サークルの場が、育児相談できる場としても認知されるよう情報発信していく。

千葉市地域福祉計画 事業別取組状況について（平成23年度）

《基本テーマ2：居場所の確保・社会参加》 ③居場所・交流の場づくり

No.	主な取り組み		所管課	事業概要	平成23年度実績見込み（取組状況）	平成24年度の予定・目標
34	オ)多世代・地域の交流	既存施設の有効活用	地域福祉課 全庁的取組	公共施設・福祉施設の有効活用、空き店舗・空き家に関する情報の収集や民間で行っている成金の情報提供を行います。	①地域福祉活動を行う施設として、平成22年度小中台保健センター跡施設を活用し、小中台地域福祉交流館をオープン。平成23年度こてはし保健センター跡施設を活用し、こてはし地域福祉交流館をオープンした。 ②学校の空き教室を拠点として活用しようとしていた地区部会に対し、区高齢障害支援課、市社協地域福祉推進課、区社協と連携のうえ学校への折衝等必要な協力を行った。	地域福祉交流館の周知、利用促進のための検討を行う。また、今後も跡施設として活用できるものがないか検討を行う。
35		学校体育施設開放事業	教育委員会 社会体育課	学校体育施設を開放し、市民の体力づくり及びコミュニティ活動の振興を図り、市民が手軽に多様なスポーツ・レクリエーションを行える場を提供します。	①市内の小学校117校・中学校55校(合計172校)の校庭、体育館、及び中学校11校の武道場の学校体育施設を開放し、市民の体力づくり及びコミュニティ活動の振興を図り、市民が手軽に多様なスポーツ・レクリエーション活動を行う場を提供した。平成23年度利用者見込み約200万人(延べ人数)	①市内の小学校116校、中学校56校の校庭、体育館及び中学校12校の武道場の学校体育施設を開放し、市民の体力づくり及びコミュニティ活動の振興を図り、市民が手軽に多様なスポーツ・レクリエーションを行う場を提供する。 ②高洲市民プールの代替として、美浜区の学校2校(小学校・中学校各1校)において、学校プール開放を実施する。
36		多世代交流の推進	高齢福祉課	老人クラブやことぶき大学校の講座等を通じて、若い世代と交流する機会を充実します。	ことぶき大学校の学生と、小学生との体験学習を通じて交流することを目的として、夏季に陶芸講座、冬季に園芸講座を実施した。[参加人数 88名]	陶芸講座(おもしろ陶芸教室)及び園芸講座(おもしろ収穫体験教室)を実施する。
37		保育所(園)地域活動事業	保育運営課	世代間交流、異年齢交流、育児講座等を実施します。	市内すべての認可保育所(園)109か所において、施設の所在する地域に住む異なる年齢の子どもたちとの交流の機会を設けたり、保護者などへの育児講座を開催したり、地域における子育てを支援する地域活動事業を実施した。また、関係機関と連携し、すべての保育所(園)において、子育てに関する情報収集及び提供、相談活動を実施した。	市内すべての認可保育所(園)116か所において、施設の所在する地域に住む異なる年齢の子どもたちとの交流の機会を設けたり、保護者などへの育児講座を開催したり、地域における子育てを支援する地域活動事業を実施する。また、関係機関と連携し、すべての保育所(園)において、子育てに関する情報収集及び提供、相談活動を実施する。
38		学校・家庭・地域連携まちづくり推進事業	教育委員会 指導課	子どもたちの地域に対する愛着をはぐくむため、学校・家庭・地域が連携して過ごしやすいまちづくり事業を推進します。	放射能の問題から地域クリーン活動を中止したり、延期した中学校区もあったが、各中学校区の地域の実態に応じた活動を概ね実施することができた。	各地域の特色ある活動を通して、児童生徒の地域に対する愛情と誇りをはぐくむ。また、広報活動等地域へのアピールにより、地域の理解を得て連携を深め、事業への参加者数の向上を図る。